

12月定例県議会が11月29日から12月17日まで開かれ、43議案と12意見書・決議案が提出されました。日本共産党県議団は、県職員の期末手当引き下げ

と紀の国森づくり税の延長の2議案、4意見書・決議に反対し、3意見書を提案しました。

新型コロナウイルス PCR等の無料検査が拡大 感染拡大に先手



1月6日 緊急申し入れ

日本共産党県議団は、第6波の感染拡大前の1月6日に緊急申し入れ。オミクロン株の特徴は感染の急拡大で、このままでは感染者が過去最高を更新する可能性があるとして、以下のことを求めました。

- ① PCR 検査等の無料化事業は、県内全域で気軽に受けられるような体制をとり、県民に十分知らせること。
- ② 高齢者施設や保育園、小中学校、学童保育、障害者施設等の職員への検査を強化すること。
- ③ 介護職員や高齢者施設の入所者などへの3回目ワクチン接種を前倒しして行うこと。
- ④ 病床等のひっ迫にそなえ、市町村や地域の医療機関との連携体制をつくること。
- ⑤ 県内旅行を補助する「わかやまりフレッシュプラン」は延期すること。

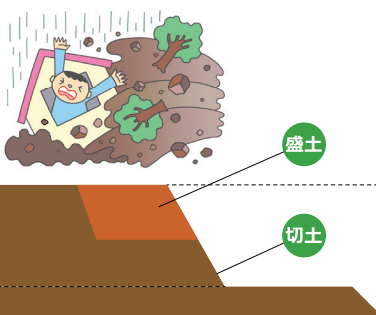
県内の盛土を総点検 規制強化で関係条例のいっそうの活用を

熱海の土石流災害を教訓に、和歌山県では緊急に盛土の総点検を行いました。4カ所で土砂撤去等の対策を行います。

和歌山県では、日本共産党県議団が産業廃棄物の不法投棄問題を繰り返し取り上げ、2009年には土砂条例（略称）が制定されました。これに基づき申請が審査され、許可や点検等が行われてきたことで、住民の安全と環境が守られてきました。

また共産党県議団は、自然を破壊し安全を脅かすメガソーラーの規制を繰り返し要求。2018年には太陽光条例（略称）が制定され、慎重に審査するルールがつけられました。

今後は新たな災害や乱立する計画に備え、規制を強化し両条例をいっそう活用していくことが必要です。



繰り返しの要求が前進

オミクロン株の感染が急拡大しているなか、県は薬局等で行う無症状者を含めた無料検査にふみきりました。日本共産党県議団は、無症状者への定期的な社会的検査を繰り返し要求してきました。その結果今回、一定の前進がはかられました。

共産党県議団 3つの意見書を提案

- ・ 沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋立てに使用しないよう求める意見書（改新クラブ、日本維新の会、日本共産党が賛成）
- ・ 土地利用規制法に基づく注視区域の指定に当たり地元自治体の意見聴取を求める意見書（改新クラブの一部、日本維新の会、日本共産党が賛成）
- ・ 消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書（日本維新の会、日本共産党が賛成）

近畿自動車道の4車線化進む



近畿自動車道紀勢線の4車線化が進んでいます。これまで対面通行で衝突死亡事故など重大事故が多発していることから、4車線化を急ぐ声が高まっています。昨年12月には、有田一印南で全線開通しました。

政府アニメの学校での視聴強要につながる決議に反対

自民党県議団などが提案した「北朝鮮による日本人拉致問題に対する理解を深めるための取組を推進する決議」に日本共産党県議団は反対しました。

その理由は、政府制作アニメ「めぐみ」の学校での上映促進は、教育現場での視聴の強要につながるからです。

活動日記



奥村規子県議
「カジノはあかん」県庁前宣伝



高田由一県議
護岸の傷みを調査（日置川）



楠本文郎県議
1月3日 新年 議会報告



杉山俊雄県議
気候危機パンフ配布（粉河駅前）

傍聴にお越しく下さい

本会議はどなたでも申し込みなしで傍聴できます。車椅子でもお越しいただけます。

12月県議会だより 2022年2月



一般質問

高田由一 県議 (西牟婁郡)

県議団幹事長
●福祉環境委員会



新型コロナウイルス感染症 検査の拡大を！

高田由一県議は、感染拡大時に感染の不安がある無症状者に対する無料検査について、県内で具体化する場合の課題について質問。

危機管理監は、本県は地理的に南北に長く、検査を実施する薬局等の数に地域差があり、県民の検査機会が不均衡にならないよう関係団体と連携していく旨、答弁しました。

児童相談所の性犯罪再発防止対策を

高田県議は、県児童相談所の職員による保護児童に対するわいせつ事件について、二度と起こさないための対策を強く要求。福祉保健部長は、県民の皆様に深くお詫びするとしうえで、夜間の職員体制について、配置が十分でなかった点があったとしました。

外出困難な障害を持った方にこそリフレッシュを

高田県議は、ユニバーサルツーリズムの取り組みについて質問しました。そのなかで、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた観光事業者等への支援として実施している「県民リフレッシュプラン」について要望。障害者施設に入所している方々への厳しい外出制限などが続いていることから、こうした方々の外出にこそ、補助を出してリフレッシュをしてもらおうと提案しました。

一般質問

楠本文郎 県議 (御坊市)

●文教委員会



増加する特別支援児童、不足する教室 那賀地方に支援学校を

楠本文郎県議は、これまで特別支援学校には設置基準がなく、増設しても子どもの数が増え続け大規模過密化し、教室が足りずに特別教室などの転用で対応してきたことを指摘。新規に制定された基準に照らした現状とその改善策をただしました。

宮崎教育長は「特別支援学級・学校の児童が増加しており、設置基準面積を満たさなくなることも懸念される。教室の間仕切りや転用、学習形態・指導方法の工夫で取り組んでいる」と答えるにとどまりました。

楠本県議は、今はない那賀地方に、新たに特別支援学校をつくるのが最大の改善であると要求しました。

気候危機打開 省エネ化への支援強化を

楠本県議は、気候危機による公害や環境汚染・食糧危機は、将来世代がまともに影響を受けることを指摘。省エネ・再エネで雇用を生み地域経済を活性化させる日本共産党の「気候危機を打開する2030戦略」を紹介し、産業部門での省エネ化や住宅の断熱化・省エネ化を進めるための支援強化を求めました。

商工観光労働部長は「脱炭素に向けた県内企業の取組を支援し成長につなげたい」とし、県土整備部長は「公営住宅は省エネ化を率先して導入し、民間住宅の省エネ化を支援する」と前向きに答えました。

投票率を向上させる改善を

楠本県議は、2021年の総選挙は戦後3番目に低い投票率となったことを指摘。特に19歳が35%と低く若年層の投票率向上への取組や、投票所に行きづらい高齢者が行きやすくなる改善を求めました。

一般質問

奥村規子 県議 (和歌山市)

県議団団長
●総務委員会



サンシティ代表が逮捕 カジノ IR 誘致は断念を

和歌山カジノ計画から撤退したサンシティグループの代表アルビン・チャウ氏が、マカオ司法警察に逮捕されました。

奥村規子県議は、現在選定されているクリアベストよりもサンシティを高く評価していた問題を追及。IR推進室の予備調査含め、県の調査力では外国のカジノ企業の全容を掌握できないと指摘しました。

また、クリアベストの代表取締役や株主構成が基本協定締結直後に変更された問題を追及。審査のやり直しと、100%株主のパシフィックリゾーツにも適格性調査を行うべきとせまりました。

田嶋 IR 担当理事は「県が定めた手続きにのっとり行われたもので、審査のやり直しは必要ない」と、矛盾だらけのやり方を正当化しました。

西庄メガソーラー計画地の危険を指摘 厳正な審査を

和歌山市西庄で進められようとしているメガソーラーの計画地は、谷埋め盛土が広範囲にわたり未完工のままです。住民からは3,500通もの意見が提出されています。

奥村県議は、盛土の一部が崩壊して調整池が埋まり、隣接する住宅地の付近は急傾斜などの危険区域に指定され、中央構造線の分岐断層が横断しているなどの危険性を指摘。事業者のメガソーラー申請は厳正に審査するよう要請しました。

新型コロナ 医療機関・事業者・低所得者支援を

奥村県議は新型コロナ対策で、医療機関の病床確保支援の県の上乗せ継続や、事業者への持続化給付金などの再支給と申請サポートの拡充、ひとり親家庭への支援充実、介護保険の補足給付の見直しによる利用者負担増の影響額や実態把握を求めました。

農林水産委員会

杉山俊雄 県議 (紀の川市)

●農林水産委員会
●関西広域連合議会



串本沖で軽石発見 現状と対策を

杉山俊雄県議は、小笠原諸島の海底火山から発生した大量の軽石の一部が、和歌山県串本沖で発見された問題で、状況と対策について質問。水産振興課長は「気象庁や海上保安庁等から入手した情報を漁協通じ漁業者に周知し、発見した場合の情報提供を依頼。多くの軽石が漂着した場合はオイルフェンス等を含め対応したい」と答えました。

スマート林業の皆伐による土砂崩れの危険ただす

杉山県議は、スマート林業を導入する経費に対して採算のとれる皆伐量について質問。林業振興課長は「高性能林業機械1台導入にあたり年間6ha前後の皆伐が必要」と答えました。

杉山県議は、皆伐すると50年間収入がないことや、土砂崩れの危険性を指摘。林業振興課長は「伐採後すぐに植栽すれば土砂崩壊を防止することができる」としました。

公有林化と公共施設の木材利用について

杉山県議は、公共施設における木材利用について質問。林業振興課長は「県が建てる4階未満で延べ床面積3000㎡以下の建築物については原則木造にするとともに、全ての公共建築物の内装などの木造化を図っている」と答えました。杉山県議は、省エネ効果や断熱効果が高い木造化をどんどん進めるよう求めました。

12月県議会 日本共産党議員の質問